

数学科学習指導案

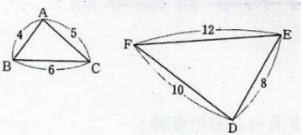
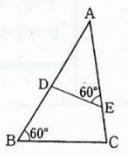
学 級：3年 組
場 所： 年 組教室
授業者：

1. 単元名 相似と比「相似な三角形と相似条件」

2. 本時のねらい

図の中に相似な三角形があることに気付き、それらの三角形がどの相似条件にあてはまるかを考え、相似といえるかどうかを判断することができる。

3. 本時の展開 (第5時/全20時間)

過程	学習活動	研究との関わり
導入	<p>1. 前時の学習で覚えた三角形の相似条件を確認し、本時の課題を確認する。</p> <p>① 3組の辺の比がすべて等しい。 ② 2組の辺の比が等しく、その間の角が等しい。 ③ 2組の角がそれぞれ等しい。</p> <p>・ 2つの三角形は、この3つのどれかが成り立つ時、相似であるといえることを確認する。</p> <p>相似な三角形を見つけ、どの相似条件にあてはまるかを考え、本当に相似といえるか判断しよう。</p>	<p>2. 研究内容 1</p> <p>前時の学習をもとに、今の時点で分かっていることと曖昧な部分を明らかにし、本時の学習につなげさせる。</p>
展開	<p>2. 例題①の解き方を確認 (個人→ペア→全体) する。(P 1 4 2 ①)</p> <p>・ 2つの三角形が相似と言えることを明らかにするためには、どのような手順で説明すればよいのかを確認する。</p>  <p>3. 例題②を個人追究する。(P 1 4 3 ②)</p> <p>・重なっている三角形から2つの三角形が見えるかを確認する。 ・その2つの三角形が相似であることを説明する。 ・どのように考えたかを、各自ノートに記す。</p>  <p>4. 例題②をグループ交流する。</p> <p>・自分の考えを、ノートを見せながら仲間に話す。 ・2つの三角形を、どのようにして比べると分かりやすいのかをはっきりさせて考える。</p> <p>5. 例題②を全体交流する。</p> <p>・着目したところや、対応する辺や角はどこかを明らかにする。</p>	<p>4. 研究内容 1</p> <p>仲間の意見を聞き、自分の考えと照らし合わせながら考え深めさせる。</p> <p>7. 研究内容 2</p> <p>重なりのある図形の中から、相似な図形を見だして、説明することができたのかを確認させる。苦手な生徒はT2のサポートを受けながら問題を解き、できた実感させる。</p>
終末	<p>6. まとめをする。</p> <p>対応する辺や角に着目し、どの相似条件にあてはまるかをはっきりさせれば、相似かどうか判断できる。</p> <p>7. 練習問題を各自で解く。(P 1 4 3のQ2)</p> <p>・本時の学習をもとに、自分が本当に理解できていたかを確認する。 ・全く分からない生徒は、T2のところへ行きヒントをもらう。</p> <p>8. 練習問題の答え合わせを全体で行う。</p> <p>・重なっている三角形から、どの三角形に着目したのか確認する。 ・使った相似条件を確認する。</p>	<p>評価規準 (技能)</p> <p>相似な三角形を見つけ、相似条件を使って相似であるかどうかを判断できる。</p> <p>【ノート・発言】</p>